

西光寺だより

第二十九号 平成二五年一月一日発行

新年明けましておめでと〜うございませう

新たな年が始まりました。西光寺におきましては、通年どおり除夜の鐘の響きとともに二〇一三年を迎え、元旦会法要のお勤めをさせていただきますました。

西光寺元旦会法要で住職の挨拶にもありましたように、当たり前のように過ごしていることであっても、それは実は特別なものでありません。

わたくしたちは特別なことを当たり前に感じて日々を送ってしまいがちです。毎日を当然のように過ごす自分に反省の毎日でもありません。しかし一方で当たり前に毎日を過ごせるということは、浄土真宗のみ教えに生きるわたくしたちにおいて常に見守っていて下さる阿弥陀様の存在があるからでもあります。それは幼子を見守る母の眼差しに似ています。

その阿弥陀様に年の初めである元旦の日にご挨拶をし、あるがままにわたくしを見て救ってくださる感謝のお勤めを皆さんでさせて頂くという事は新たな年を迎えるにあたり大切な事でございます。

この世はいつでもどうなるかわからない無常の世界でございます。当たり前前に感じられることに感謝しながら、一日一日精一杯自分の人生を過ごさせていけたらと思います。

まだまだこれから冷たく寒い日が続きますが、皆様お体を十分においとい頂きながら、お念仏とともに心穏やかな日々を積み重ねていくように共に精進してまいりましょう。

本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。

♪お知らせ♪

十二月三〜四日に茨木東組念仏奉仕団に西光寺から五名の方と京都西本願寺へ清掃奉仕に参加してまいりました。茨木東組全体では八ヶ寺のご住職と五十三名のご門徒の皆様で参加しました。

一日目の清掃奉仕（本堂の畳拭き）をし、御門主様と百華園で記念撮影を終え、研修をして終了しました。その後皆様で本願寺横にある京都東急ホテルで懇親会。ご門徒の皆様でお食事・お酒を交えての歓談、日頃なかなかお話しできないことなど、楽しい時間を過ごさせていただきました。

そして二日目。朝六時から本願寺でのお勤め。阿弥陀堂では讚佛偈、御影堂では正信偈のお勤めを致しました。ご門主様導師のもと、本願寺の凜とした静寂の中、そして本願寺の知堂による声明、何もかもがその場でしか味わえない空気を体全体で感じる事ができました。その後、帰敬式。ご門徒の希望者の方が法名を頂き仏弟子となり、浄土真宗のご門徒としての誓いを立てる儀式です。ご門主様自らお剃刀を受け法名をいただきます。そして清掃奉仕（本願寺境内の落葉を皆様に拾いました）をし、国宝の書院・飛雲閣を巡り、抹茶接待。法話を聴聞して終了。一泊二日での本願寺での時間。参加された皆様方お疲れ様でした。本願寺へお参りをし清掃活動を通して、親鸞聖人を身近に感じ、懇親会でそれぞれがまた新たな出会いをさせていただきました。

一年に一度の清掃奉仕、すべてをとおし日常とは違う時間を過ごさせていただきました。これからも毎年行われる念仏奉仕団、一度参加されてみてはいかがでしょう。



合掌

浄土真宗本願寺派 白毫山 西光寺

大阪府茨木市西河原一七七一

電話 〇七二一六二二一四七九四

FAX 〇七二一六二二一九二九一

<http://www.osaka-saikouji.net/>